

東京大学での所属学部・研究科等：	工学部	学年（プログラム開始時）：	学部4
参加プログラム：	全学交換留学	派遣先大学：	モナシュ大学
卒業・修了後の就職（希望）先：			
<input type="checkbox"/> 1.研究職 <input type="checkbox"/> 2.専門職（医師・法曹・会計士等） <input type="checkbox"/> 3.公務員 <input type="checkbox"/> 4.非営利団体 <input type="checkbox"/> 5.民間企業（業界：    ） <input type="checkbox"/> 6.起業 <input type="checkbox"/> 7.その他（    ）			

**派遣先大学の概要**

オーストラリアのビクトリア州メルボルンに位置する大学

**留学した動機**

英語力向上、学部で履修しなかったが興味があった教科の勉強

**留学の時期など**

①留学前の本学での修学状況：	2015年	学部4	年生の	S 2	学期まで履修
②留学中の学籍：					
③留学期間等：	2015年	7月～		2016年	6月
	年時に出発				
④留学後の授業履修：	2016年	学部4	年生の	A 1	学期から履修開始
⑤就職活動の時期：	2017年	修士1	年生の	11月頃に	
⑥本学での単位数：	留学前の取得単位		74	単位	
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			24 単位	
	留学後の取得（予定）単位		未定	単位	
⑦入学・卒業/修了（予定）時期：	2011年	4月入学		2017年	3月卒業/修了
⑧本学入学から卒業/修了までの期間：	6年		ヶ月間		

**⑨留学時期を決めた理由：**

学部で留学に行ける最後の機会だったため。また留学に必要なIELTSのスコアが取れたのも3年の夏学期だったため

**留学の準備**

**①留学先大学への入学手続き（手続きにあたってのアドバイスなど）**

特になし

**②ビザの手続き（ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど）**

申請処理がなかなか進まなかったり、ビザ申請に必要な健康診断の予約がなかなか取れなかったりするので、早めに申請手続きを行った方が良い。

③医療関係の準備（出発前の健康診断、常備薬、予防接種等）					
特になし					
④保険関係の準備（加入した海外旅行傷害保険・留学保険等）					
大学指定のものに加入					
⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科（教育部）で行った手続きなど（履修・単位・試験・論文提出等に関して）					
東大のテスト期間と留学開始時期が被ったため、いくつかの授業でテスト時期を早めてもらったりレポート提出に代替してもらったりした。					
⑥語学関係の準備（出発前の語学レベル・語学学習等）					
どんなに英語がうまい人でも時間のある限り日本でしっかり英語を学んでおくべき。海外で生活するだけでは英語は全く上手くならず、向こうで英語を学ぶことは所詮日本で行った英語学習の延長に過ぎない。					
⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど					
日本の電源ケーブル（タコ足）、常備薬					
<b>学習・研究について</b>					
①履修した授業科目のリスト（授業を履修した場合）					
※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの（又は行う予定のもの）に●をつけてください。					
授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
DESCRIBING AND ANALYSING	6		ANDROID AND IOS DEVELOPMENT	6	
INTRODUCTION TO COMPUTER	6				
DATA SCIENCE	6				
ALGORITHMS AND DATA	6				
ADVANCED PROGRAMMING	6				
②留学中の学習・研究の概要（授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等）					
講義の他にチュートリアルという講義の内容を復習する授業がある。また、ラボという授業では毎週または2週間に1回与えられる課題に取り組む。1学期に取れる科目数が最大で4つなので、一つ一つの授業がとても濃く、課題も多く出た					
③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間（授業時間・授業以外の学習時間）など					
1学期最大4科目で1科目につき6単位。1科目がとても重く、課題はたくさん出た。授業の時間数は1科目につき週6時間程度であり多くないが、課題にかかる時間は厳しい授業だと週10時間くらい必要だった。					
④学習・研究面でのアドバイス					
テスト前にまとめて勉強しようとしても、1科目がとても濃いので、かなり苦勞することになる。毎週少しずつ勉強し、課題をこなしていくことが大切					
⑤語学面での苦勞・アドバイス等					
これを聞いて驚くかもしれないが、私は1年間オーストラリアにいても英語がよく理解できると言えるレベルには達しなかった。特に、今でもリスニングはかなり苦勞している。向こうで1番強く感じたことは、海外に住んでいても英語は自分で勉強しなきゃ決して上手くならないし、結局それは日本での英語学習の延長に過ぎないのだな、ということであった。なので、留学を考えている人は、向こうで英語を勉強しようとするのではなく、出国前からコツコツと単語を覚えたり、リスニング力を鍛えたりする努力が大切である。					
<b>生活について</b>					

①宿泊先（種類（寮・ホームステイ・ルームシェア等）、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など）
大学の寮
②生活環境（気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法（海外送金・クレジットカード）など）
お金を現地の口座に日本から親に送金してもらった。クレジットカードも必要に応じて使用。クレジットのみで半年または1年海外で過ごすことは難しいので、現地で口座を作りお金を日本から送金することを勧める
③危機管理関係（留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など）
私は1年間の留学中1度も日本に帰国しないで過ごしたが、正直最後の2ヶ月間はストレス等でかなり息切れ気味であった。そのため、時間のある時にリフレッシュを兼ねて一時帰国をしたほうが、最後まで留学のストレスに負けることなく過ごすことが出来るのかもしれない。
④留学に要した費用について（航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算）
・毎月の生活費とその内訳
寮費950オーストラリアドル（以下\$）、食費\$400、交際費\$200
・留学に要した費用総額とその内訳
すべて込で約200万（12ヶ月）。160万くらいが生活費と交際費、20万くらいが旅費、残り20万くらいが保険やその他雑費
⑤奨学金（受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など）
jassoの海外留学支援制度（協定派遣）奨学金（月7万）
⑥学習・研究以外の活動（スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など）
大学の野球部に入り、週二回野球をしていた。また、日本クラブという日本文化に興味がある学生と日本人が集まるクラブに参加し、そこで多くの友人を作った。また、留学先の教授の1人に何か自分が関われるプロジェクトはないかと相談し、授業とは別にテキストマイニングの研究を少し行うことができた。
<b>派遣先大学の環境について</b>
①留学生へのサポート体制（語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等）
モナシュ大学は留学生の数が多いため、とてもしっかりしている。特に大学寮はとても住みやすく、おすすめ
②大学の設備（図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等）
図書館も複数あるし、ジムもあり、食事を取る場所もそれなりにある
<b>留学と就職活動について</b>
①（就職活動を既に行った場合）留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど
就職を行わないため、不明
②（今後就職活動を行う場合）留学が就職に対する考え方に与えた影響

同上
③留学中の就職活動への対策など（もしあれば）
同上
④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください
<input type="checkbox"/> 1.研究職 <input type="checkbox"/> 2.専門職（法曹・医師・会計士等）（職名：           ） <input type="checkbox"/> 3.公的機関（機関名：           ） <input type="checkbox"/> 4.非営利団体（団体名又は分野：           ） <input type="checkbox"/> 5.民間企業（企業名又は業界：           ） <input type="checkbox"/> 6.起業（分野：           ） <input type="checkbox"/> 7.その他（           ）
<b>留学を振り返って</b>
①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感
<p>海外と比べたときの日本や日本人の特異さ、ユニークさに気づく。またネイティブと我々の英語力の差を強く実感する。そして、留学先では自分の専門と違う科目を学ぶ事ができるので、自分が何をやりたいのかを探る絶好の機会となった。実際、私は大学院で学びたい学問をこの1年で見つけることができました。</p>
②留学後の予定
海外の大学院進学
③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス
<p>いろいろと感じる事は多いので、是非機会があればなるべく1年間留学してみてください。ただ、海外に行けば英語が勝手に上手くなると思って留学を検討している人は、行かないのが吉でしょう。事実、10年以上現地に滞在していても英語があまり上手くない人はたくさんいます。私はこの留学を通じて、ブレブレだった自分の軸（将来どう生きていくか、何を目指すか等）が少しだけ定まり、自分自身への理解（自分の得意不得意、向き不向き）も多少深まったように感じます。</p>
<b>その他</b>
①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物
留学先の大学のホームページ
②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。